

# 平成 25 年度 兵庫県立小野高等学校 学校経営計画書及び学校評価報告書

1. ミッション：理想の人間像を追求し、生きる力と学ぶ力を身に付けさせ、一人一人の進路を達成させる。

## 2. 学校教育目標

- (1) 校是である明・浄・直(蜻蛉魂)による校風の発揚
- (2) 進路目標達成に向けての学力養成
- (3) 国際的視野と他を思いやる心の育成
- (4) 健康な身体とたくましい精神の育成

## 3. 学校経営の重点

校是を礎とする基本的な生活習慣を確立させ、本校教育目標の実現を図る。特に生活3原則（挨拶励行・時間厳守・清掃の徹底）を指導の中心に据える。

- (1) 「教育は人なり」である。伝統を継承し生徒が安心して学べ、心身共に成長する環境を作るために、熱意ある教育実践と真摯なる研修を積み重ねる教職員集団づくりを図り、学校のさらなる発展を目指す。
- (2) 時代の多様なニーズに応えるために、普通科・科学総合コース・商業科・国際経済科を持つ総合制高校として、それぞれの科・コースの特徴をより伸張すると共に、組織横断的な教育計画を展開し、特色ある教育活動を推進する。
- (3) 生涯にわたり、自らの志の実現を目指し、主体的に学び続ける力をつけるために、学年・学級経営を一層充実し、生徒一人一人の能力と個性を伸ばす教育を目指す。
- (4) 生徒の学びを支えるために、学校・家庭・地域社会が、それぞれの教育力を生かしながら連携を深める。さらに、学校評議員制度や評価システムを活用し、地域に開かれ、信頼される学校づくりを一層推進する。
- (5) 地域の幼児児童生徒、高齢者、障害のある生徒との交流やボランティア活動等を通して、思いやりの心や共に生きる心を育てる。

## 4. 平成 25 年度の重点事項（努力事項）

- |   |  |   |
|---|--|---|
| (1) 学力向上により進路保障<br>・ 授業力の向上<br>・ すべての生徒の学力向上<br>・ 進路実績の向上 | (2) 豊かな人間性を持った生徒の育成<br>・ 規律ある態度の育成<br>・ ボランティア体験の実施<br>・ 人権教育の充実 | (3) 地域に信頼される学校づくり<br>・ 情報発信の手段と内容の充実<br>・ 教職員の意識の高揚<br>・ 地域との連携 |
|---|--|---|

## 5. 行動指針 3つのワークを大切にする。

- (1) チームワーク：組織の一員である (2) フットワーク：足を運ぶ (3) ネットワーク：学校・家庭・同窓会・関係機関等

## 6. 平成 25 年度研究指定事業等について

### (1) サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト（科学総合コース）

兵庫教育大学と連携して総合的な学習の時間「探究」をより実りあるものとする。講座の実施場所としては兵庫教育大学の研究施設で実験をともなった講義を受け、最先端の研究に触れることにより生徒の科学技術に対する興味・関心を高める。

### (2) インスパイアハイスクール

理数教育重点指定校（科学総合コース）科学総合コースが従前から実施している民間企業研究所と大学訪問、大学の教授等を講師に招き、科学技術・学術関係の講話や高大連携授業、総合的な学習の時間における活動を充実させる。

特色ある教育活動重点指定校（商業科・国際経済科）(ア) 地元商店主と行う店舗開発や販売実習を通じたビジネス知識の進化と実践力の推進。(イ) 世代交流を通じた地域伝統文化の継承。(ウ) 元商店街の空き店舗を中核として、双方向に人や物や情報が往来する拠点作り。

### (3) 高校学力向上推進プロジェクト研究指定校（H24～26）

本年度の学校経営の重点事項である「学力向上による進路保障」のA評価（学校評価による）を目指す。そのために、先進校の視察・報告会や授業研究会、生徒の授業評価による授業改善等を実施する。

### (4) 高等学校「ことばの力」充実事業（H24～25）

本校の指標を設定して、すべての教科の授業の中で生徒の言語活動を活性化させる取り組みを行う。国語科と商業科において実践事例集を作成する。

### (5) 観察・実験推進モデル校（H24～26）

理科の授業においてiPadを用いた観察・実験の事業を行うことで、生徒に物理現象のイメージをもたせ、自分なりの自然観を抱かせる。

### (6) 高等学校インターンシップコーディネート事業

働くことへの関心・意欲を高め、就職や進路などのキャリア教育に関する学習の機会の充実を図る。実習の受入事業所の開拓並びにデータベースの作成及び共有を図り、事業所でのインターンシップの実施を推進する。